

公立大学法人大阪に係る第1期中期目標変更案  
(大学の目標比較表)

大阪府立大学に関する目標（現行第2の1）	大阪市立大学に関する目標（現行第2の2）	新大学に関する目標（現行第7の3）	大阪公立大学の教育研究に関する目標（今回作成）	備考
<p>1 大阪府立大学に関する目標</p> <p>(1) 教育に関する目標</p> <p>ア 人材育成方針及び教育内容</p> <p>イ グローバル人材の育成</p> <p>ウ 教育の質保証等</p> <p>エ 学生支援の充実等</p> <p>オ 入学者選抜</p>	<p>2 大阪市立大学に関する目標</p> <p>(1) 教育に関する目標</p> <p>ア 人材育成方針及び教育内容</p> <p>イ グローバル人材の育成</p> <p>ウ 教育の質保証等</p> <p>エ 学生支援の充実等</p> <p>オ 入学者選抜</p>	<p>3 新大学に関する目標</p> <p>(1) 大学として求められる基本的役割のさらなる強化</p> <p>ア 教育に関する目標</p> <p>(ア) 人材育成方針及び教育内容</p> <p>(イ) 教育の質保証</p> <p>(ウ) 学生支援の充実</p> <p>(エ) 入学者選抜</p>	<p>1 大阪公立大学に関する目標</p> <p>(1) 教育に関する目標</p> <p>ア 人材育成方針及び教育内容</p> <p>イ 教育の質保証</p> <p>ウ 学生支援の充実等</p> <p>エ 入学者選抜</p>	<p>※グローバル人材の育成は、「国際力の強化」に関する目標で記載。</p>
<p>(2) 研究に関する目標</p> <p>ア 研究水準の向上</p> <p>イ 研究体制の整備等</p>	<p>(2) 研究に関する目標</p> <p>ア 研究水準の向上</p> <p>イ 研究体制の整備等</p>	<p>イ 研究に関する目標</p> <p>(ア) 研究水準の向上</p> <p>a 先端研究、異分野融合研究等の推進</p> <p>b 地域課題解決型研究の推進</p> <p>(イ) 研究体制の整備等</p> <p>a グローバル研究拠点の形成</p> <p>b イノベーション創出拠点の形成</p>	<p>(2) 研究に関する目標</p> <p>ア <u>研究力の強化</u></p> <p>イ <u>研究推進・支援体制の整備</u></p>	
<p>(3) 社会貢献等に関する目標</p> <p>ア 研究成果の発信と還元による産業活性化への貢献</p> <p>イ 生涯学習の取組の強化</p> <p>ウ 地方自治体など諸機関との連携の強化</p>	<p>(3) 社会貢献等に関する目標</p> <p>ア 地域貢献</p> <p>(ア) シンクタンク機能の充実</p> <p>(イ) 大阪市との基本協定に基づく取組</p> <p>(ウ) 地域における人材の育成</p> <p>(エ) 地域貢献態勢の整備</p> <p>イ 産業活性化への貢献</p> <p>(ア) 先端的研究分野での連携・態勢整備</p> <p>(イ) 地域産業との連携</p>	<p>ウ 社会貢献等に関する目標</p> <p>(ア) 地域貢献</p> <p>a 諸機関との連携強化</p> <p>b 地域課題の解決に資する人材の育成</p> <p>c 生涯学習の取組の強化</p> <p>(イ) <u>地域産業活性化への貢献</u></p>	<p>(3) 社会貢献に関する目標</p> <p>ア 地域貢献</p> <p>(ア) 諸機関との連携強化</p> <p>(イ) 地域で活躍する人材の育成</p> <p>(ウ) 生涯学習への貢献</p> <p>イ 産業活性化への貢献</p>	
		<p>(2) 大阪の発展に貢献する2つの新機能の整備</p> <p>ア 都市シンクタンク機能に関する目標</p> <p>イ 技術インキュベーション機能に関する目標</p>	<p>(4) 大阪の発展に貢献する2つの新機能に関する目標</p> <p>ア 都市シンクタンク機能</p> <p>イ 技術インキュベーション機能</p>	
<p>(4) グローバル化に関する目標</p>	<p>(4) グローバル化に関する目標</p>	<p>(3) 国際力の強化</p>	<p>(5) 国際力の強化に関する目標</p>	
	<p>(5) 附属病院に関する目標</p> <p>ア 高度・先進医療の提供</p> <p>イ 高度専門医療人の育成</p> <p>ウ 地域医療及び市民への貢献</p> <p>エ 安定的な病院の運営</p>		<p>(6) 附属病院に関する目標</p> <p>ア 高度・先進医療の提供</p> <p>イ 高度専門医療人の育成</p> <p>ウ 地域医療及び市民への貢献</p> <p>エ 安定的な病院の運営</p>	

大阪府立大学に関する目標（現行第2の1）	大阪市立大学に関する目標（現行第2の2）	新大学に関する目標（現行第7の3）	大阪公立大学の教育研究に関する目標（今回作成）	備考
<p>1 大阪府立大学に関する目標</p> <p>(1) 教育に関する目標</p> <p>ア 人材育成方針及び教育内容</p> <p>初年次教育の充実をはじめ、教養・基礎教育と専門教育の充実を図り、複雑化・多様化し、急速に変化する社会において、幅広い教養と高い専門性を備え、<u>地域社会だけでなく国際社会で活躍できる人材</u>を育成するための教育を展開する。専門職種の国家試験の合格率の向上に引き続き努めるとともに、<u>公的機関や産業界と連携した教育により実践力を兼ね備えた人材の育成</u>を目指す。</p>	<p>2 大阪市立大学に関する目標</p> <p>(1) 教育に関する目標</p> <p>ア 人材育成方針及び教育内容</p> <p>(ア) 人材育成方針</p> <p>様々な分野において指導的役割を果たせる、広い視野と高い専門性を兼ね備えた、<u>地域社会から国際社会まで幅広く活躍できる人材</u>を育成する。</p> <p>(イ) 教育内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学士課程における教育の充実 総合大学の強みを活かした幅広い教育を推進し、教養教育から専門教育に至るまでの効果的な学修を促進する。</li> <li>・ 大学院課程における教育の充実 <u>大学院教育の充実を図り</u>、幅広い知識と高度な専門性を兼ね備えた研究者や職業人を養成する。</li> <li>・ <u>社会人教育の強化</u> <u>社会ニーズに対応した高度な専門性を有する社会人を育成する。</u></li> <li>・ <u>中等教育との連携</u> <u>中等教育機関と連携し、学修の動機づけや能動的学修等に協力することにより、大学教育につながる一貫した人材育成を支援する。</u></li> </ul>	<p>3 新大学に関する目標</p> <p>(1) 大学として求められる基本的役割のさらなる強化</p> <p>ア 教育に関する目標</p> <p>(ア) 人材育成方針及び教育内容</p> <p>a 人材育成方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会変化に対応する人材育成 大学への社会的要請を踏まえ、幅広い知識や専門領域の基礎的知識に加え、実践的態度、倫理的態度、創造的な知性という広義の教養を備え、卒業後も学び続ける姿勢を身に付けることができるよう、<u>全学共通の基幹教育や高度専門教育を充実</u>し、社会変化に対応する人材育成を実施する。</li> <li>・ 高度な専門性を有する人材の養成 基礎的・応用的研究をリードする指導的研究者、世界で活躍する若手<u>研究者を育成</u>する。また、複雑多様化する社会を支えけん引する高度専門<u>職業人</u>を育成する。さらに、大阪の発展に貢献する高度専門職業人、専門的な知識・技能等を有する企業の経営者・従業員、行政職員、学校教員等を養成するため、<u>社会人のリカレント教育を充実</u>する。</li> </ul> <p>b 教育内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>5つの基礎力を育成するための基幹教育教養、専門的能力、情報収集・分析力、行動力及び自己表現力の5つの力を身に付けて社会の中で発揮できる人材を育成するため、科目群を体系的に配置する。</u></li> <li>・ <u>様々な学問分野への志向性を持つ学生の多様な考えを一堂に会して融合し、確かな論理的思考能力と豊かな感性や、倫理的態度を備えさせ、また、卒業後も続く友情的関係の醸成、専門教育への確実な連結を深める教育を行う。</u></li> </ul>	<p>1 大阪公立大学に関する目標</p> <p>(1) 教育に関する目標</p> <p>ア 人材育成方針及び教育内容</p> <p>学士課程における<u>全学共通の基幹教育や高度な専門教育の充実</u>を図り、幅広い教養と高い専門性を備えた<u>地域社会から国際社会まで幅広く活躍できる人材</u>を育成する。 <u>大学院教育の充実を図り</u>、広い視野に立って、専門分野における学術の理論及び応用を教授するとともに、産業界等と連携した教育も行いながら、実践力を備えた<u>職業人や研究者を育成</u>する。</p>	<p>○ 府大・市大・新大学の目標を踏まえ作成</p> <p>○ 現行の新大学の目標「b 教育内容」は全て基幹教育に関する記載のため、学士課程における目標を記載するにあたって、整理（「全学共通の基幹教育や高度な専門教育の充実」）</p> <p>○ 正課内で提供するリカレント教育（社会人大学院）は教育内容の大学院教育で取り扱い、正課外で提供するもの（履修証明プログラムや公開講座）に関しては、(3) 社会貢献等に関する目標⇒「生涯学習への貢献」で取り扱う。</p>

大阪府立大学に関する目標（現行第2の1）	大阪市立大学に関する目標（現行第2の2）	新大学に関する目標（現行第7の3）	大阪公立大学の教育研究に関する目標（今回作成）	備考
<p>イ グローバル人材の育成</p> <p>グローバル化された社会で活躍できる人材を育成するため、異文化理解やコミュニケーション力などを重視した教育を展開する。学生の国際流動性を高めるため、海外からの留学生の受入れや海外への留学に対する支援制度を充実する。</p> <p>ウ 教育の質保証等</p> <p><u>ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー及びアドミッションポリシーに基づいた教育の内部質保証のためのPDCAサイクルを構築する。</u>個々の授業科目においても、各教員がディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーを踏まえ、教育の改善に向けたPDCAサイクルを機能させるための取組を推進する。<u>また、国際通用性の高い教育カリキュラムを展開する教育体制の整備に取り組む。</u></p> <p>エ 学生支援の充実等</p> <p>学生の資質・能力を育むために必要な支援制度の充実や各種相談体制の整備、<u>就職や健康管理に関する支援、学習環境の整備等を推進する。</u>障がい者の学ぶ機会をより一層拡充するため、支援の取組を進める。また、アジアをはじめとする海外からの留学生を積極的に受け入れるための環境づくりを進める。</p> <p>オ 入学者選抜</p> <p>大阪府立大学の教育目的・教育目標に沿った優秀な学生を受け入れるため、高大接続や入試に関する国の改革の動向も見据えながらアドミッションポリシーに基づき、学力だけでなく多面的・総合的な評価を行う多様な入学者選抜を実施する。</p>	<p>イ グローバル人材の育成</p> <p>基礎的な思考力や主体的な行動力等、社会で活躍するために必要な基礎的能力に加え、外国語でのコミュニケーション能力、異文化理解・活用力を備えた国際社会で活躍できる人材を育成する。</p> <p>ウ 教育の質保証等</p> <p>教育の質の改善・向上を図るための体制を強化するとともに、学習成果の多面的な評価に基づいた教育の自己点検・評価を継続的に実施し、教育の充実に取り組む。また、分野横断型の教育に対応しうる柔軟な教育体制を構築するとともに、各組織の機能充実を図る。</p> <p>エ 学生支援の充実等</p> <p><u>学生のニーズを把握し、学習環境、キャンパスライフ、地域貢献活動、就職活動、健康管理、メンタルヘルス等に関する取組</u>を更に充実させる。また障がいのある学生への支援をさらに進める取組を行う。</p> <p>オ 入学者選抜</p> <p>高大接続や入試に関する国の改革の動向も見据えながら、優秀な学生を受け入れるための入学者選抜を実施する。</p>	<p>(イ) 教育の質保証</p> <p>教育の質の改善・向上を図るための体制を構築するとともに、学習成果の多面的な評価に基づいた教育の自己点検・評価を継続的に実施し、教育の質保証に取り組む。</p> <p>(ウ) 学生支援の充実</p> <p><u>学生の資質・能力を育むために必要な支援制度の充実や各種相談体制の整備、学習環境の整備等を推進する。</u>また、障がい者の学ぶ機会をより一層拡充するため、支援の取組を進める。</p> <p>(エ) 入学者選抜</p> <p>新大学の教育目的・教育目標に沿った優秀な学生を受け入れるため、<u>高大接続や入試に関する国の改革の動向も見据えながら、アドミッションポリシーに基づき、学力だけでなく多面的・総合的な評価を行う多様な入学者選抜を実施する。</u></p>	<p>イ 教育の質保証</p> <p><u>ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーに基づいた教育の自己点検・評価を中心とする教育の内部質保証システムを構築するとともに、</u>全学的なFD(ファカルティ・ディベロップメント)、SD(スタッフ・ディベロップメント)に取り組むことにより、教育力の一層の向上を図り、質の高い教育活動を維持する。</p> <p>ウ 学生支援の充実等</p> <p><u>学生の資質・能力を育むために必要な支援制度の充実や各種相談体制の整備、学習環境の整備等を推進する。</u></p> <p>また、性別、年齢及び国籍の違いや障がいの有無など多様な個性や背景を持つすべての学生を包摂できる環境の整備や支援の取組をより一層拡充する。</p> <p>エ 入学者選抜</p> <p>多様な能力や個性を持つ優秀な学生の確保を図る。</p> <p>そのため、大阪公立大学の持つ魅力を活かしながら積極的な広報活動等を行うとともに、<u>高大接続や入試に関する国の改革の動向も見据えながら、アドミッション・ポリシーに基づき、学力だけでなく多面的・総合的な評価を行う多様な入学者選抜を実施する。</u></p>	<p>○ 大阪公立大学のグローバル人材の育成に関しては、「(5) 国際力の強化に関する目標」で記載。</p>

大阪府立大学に関する目標（現行第2の1）	大阪市立大学に関する目標（現行第2の2）	新大学に関する目標（現行第7の3）	大阪公立大学の教育研究に関する目標（今回作成）	備考
<p>(2) 研究に関する目標</p> <p>ア 研究水準の向上</p> <p>高度研究型大学として、<u>現代社会における様々な課題の解決</u>や<u>イノベーションの創出に資する</u>ため、大阪府立大学の持つ強みを活用しつつ<u>先端的な研究や異分野融合による研究等を推進</u>する。</p> <p>イ 研究体制の整備等</p> <p>個々の教員の自発的な研究を推進するとともに、幅広い社会的な課題に対応するため、分野横断的な研究体制で取り組む。他大学、研究機関、企業、地方自治体などと連携し、オープンイノベーションを推進するとともに、研究成果を広く発信し、連携を進展させる。<u>また、研究の推進に当たっては、外部資金を積極的に活用する。</u></p>	<p>(2) 研究に関する目標</p> <p>ア 研究水準の向上</p> <p>高度研究型の総合大学として国際的に卓越した研究力の強化を目指し、<u>先端的研究・異分野融合研究を推進</u>するとともに、都市にある総合大学としての強みを活かし、これまで取り組んできた都市科学分野の研究をより一層推進する。</p> <p>イ 研究体制の整備等</p> <p>研究力の分析・評価により、戦略的・効果的に研究活動を支援するとともに、研究活動に関する公表の促進、他の大学や研究機関等との連携、分野横断的な研究体制の構築等により研究力の向上を図る。また若手研究者、女性研究者への支援を充実させる。</p>	<p>イ 研究に関する目標</p> <p>(ア) 研究水準の向上</p> <p>a 先端研究、異分野融合研究等の推進 理系・文系・医療系の幅広い学問体系を擁する総合大学としての強みを活かし、基礎から応用までの一貫した研究を充実するとともに、世界をリードする先端研究や、分野の垣根を越えた複合的研究・異分野融合研究の開拓・推進に重点的に取り組む。</p> <p>b <u>地域課題解決型研究の推進</u> <u>社会の複雑な問題や研究課題に取り組むため、研究者や専門家が横断的に集い、文理融合研究・学際的な研究に取り組み、地域課題解決型研究を推進し、国際的な研究モデルへ発展することを旨とする。</u></p> <p>(イ) 研究体制の整備等</p> <p>a <u>グローバル研究拠点の形成</u> <u>新大学の強みとなる分野や、特色ある研究への重点的な投資</u>、国内外で活躍する著名な研究者の招へいや登用により、<u>グローバル研究拠点</u>となることを目指す。 また、海外の大学及び研究機関との間で、若手研究者や大学院生の派遣及び受入れを行い、グローバルに活躍できる研究者の育成を図る。</p> <p>b <u>イノベーション創出拠点の形成</u> <u>国内外の大学や研究機関等と連携し、イノベーション創出拠点の形成を推進する。</u> <u>また、大阪の成長戦略を実現するために、自由な発想に基づくテーマ型研究に加え、組織的に取り組む戦略投資型研究の両面から、イノベーションの創出を目指す。</u></p>	<p>(2) 研究に関する目標</p> <p>ア 研究力の強化</p> <p>大阪の発展をけん引する「知の拠点」にふさわしい高度研究型大学として、長期的戦略に基づき、各専門分野における学術研究の一層の高度化と国際化を図るとともに、幅広い学問体系を擁する強みを活かし、<u>イノベーション創出</u>や<u>現代社会の課題解決に資する先端研究・異分野融合研究を推進</u>する。 更に、卓越した若手、女性、外国人研究者等の採用・育成および効果的支援による研究力の一層の高度化・国際化を目指す。</p> <p>イ 研究推進・支援体制の整備</p> <p>研究者の創造的な発想に基づく高度な学術研究や分野横断的な産学官連携研究を機動的に推進できる研究推進・支援体制を整備する。 特に、大学の強みや特色となる研究領域等への重点的投資により、グローバル研究拠点の形成に取り組み、大学の研究力の一層の高度化と国際的プレゼンス向上を目指す。</p>	<p>○ 「地域課題解決型研究」については、(4)ア 都市シンクタンク機能を含む。</p>

大阪府立大学に関する目標（現行第2の1）	大阪市立大学に関する目標（現行第2の2）	新大学に関する目標（現行第7の3）	大阪公立大学の教育研究に関する目標（今回作成）	備考
<p>(3) 社会貢献等に関する目標</p> <p>ア 研究成果の発信と還元による産業活性化への貢献</p> <p>大阪府立大学が「大学の研究成果を広く発信・社会還元をし、地域社会・国際社会の発展に貢献する。」実学に強みがある大阪府立大学の特徴を活かし、特に産学連携の取組の強化を通じて、大阪の産業活性化に貢献する取組を推進する。</p> <p>イ 生涯学習の取組の強化</p> <p>府民・地域の生涯学習ニーズに対応するため、適正な受益者負担のもと大阪府立大学の知的資源を活用し、多様で質の高い生涯教育の機会を提供する。また、交通の利便性を活かした都市部サテライトでの社会人向け公開講座の実施など、社会人の学習の場の提供に努める。</p> <p>ウ 地方自治体など諸機関との連携の強化</p> <p>大阪府、府内市町村等との連携を強化し、具体的な政策課題等に対応した共同研究・共同事業を実施するなど、大阪のシンクタンクとしての役割を果たす。また、大阪府の関係機関との人的・技術的な連携協力を進めるとともに、公的研究機関や国・諸外国の関係機関などと連携することにより、地域社会の課題の解決に貢献する。</p>	<p>(3) 社会貢献等に関する目標</p> <p>ア 地域貢献</p> <p>(ア) シンクタンク機能の充実</p> <p>都市の成長と地域の発展に資するため、大阪市立大学の知的資源を活用するとともに、他の大学や研究機関等との連携を強化し、その研究成果を社会に還元する。</p> <p>(イ) 大阪市との基本協定に基づく取組</p> <p>大阪のシンクタンク機能を果たすため、大阪市との連携をより一層促進して、複雑化・高度化する大阪の都市課題を的確に捉え、その解決に取り組む。</p> <p>(ウ) 地域における人材の育成</p> <p>地域に開かれた大学として、生涯にわたる多様な学びを提供することにより、市民に対し広く大学の知に触れる機会を提供し、地域における人材育成を支援する。</p> <p>(エ) 地域貢献態勢の整備</p> <p>大学に求められる社会ニーズの把握に努め、大阪市立大学の知的資源に関する情報の集積・発信を行うための態勢を強化する。</p> <p>イ 産業活性化への貢献</p> <p>(ア) 先端的研究分野での連携・態勢整備</p> <p>先端的研究をはじめとする様々な分野で、関連産業との共同研究等を促進し、大阪市立大学の研究力の向上を図るとともにイノベーションを創出し、産業の発展に寄与する。</p> <p>(イ) 地域産業との連携</p> <p>地域経済の成長のため、研究開発や人材育成等において、中小企業をはじめとする地域産業との連携を強化する。</p>	<p>ウ 社会貢献等に関する目標</p> <p>(ア) 地域貢献</p> <p>a 諸機関との連携強化</p> <p>大学、小学校・中学校・高等学校、研究機関、行政機関、産業界、医療・保健機関等との連携強化を促進し、大阪における産学官ネットワークの中核的存在となることを目指す。</p> <p>b 地域課題の解決に資する人材の育成</p> <p>地域貢献に関する科目を体系的に提供し、地域に関する問題を把握し、その解決策を考える教育プログラムを実施する。</p> <p>c 生涯学習の取組の強化</p> <p>生涯学習ニーズの高まりの中で、人々の知的探究心を満足させるだけでなく、豊かな社会生活のために、必要な学びの場を提供する。</p> <p>(イ) 地域産業活性化への貢献</p> <p>最先端の研究成果を社会に還元するため、大学の保有する技術を積極的に紹介し、地域の金融機関、自治体、商工会議所等の支援も得て、地域産業の活性化につなげる。</p> <p>また、経営ノウハウとチャレンジ精神を持った起業家を目指す人材や、ものづくり関連中小企業の後継者を育成し、地域の中小企業振興に貢献する。</p>	<p>(3) 社会貢献に関する目標</p> <p>ア 地域貢献</p> <p>(ア) 諸機関との連携強化</p> <p>行政機関、教育機関、産業界等との連携強化を促進し、大阪をはじめとする地域課題の解決に向けた産学官ネットワークの中核的存在となることを目指す。</p> <p>(イ) 地域で活躍する人材の育成</p> <p>地域貢献に関する科目を提供し、地域に関する問題を把握し、その解決策を考える教育を実施することで、地域で活躍する人材を育成する。</p> <p>(ウ) 生涯学習への貢献</p> <p>社会に必要とされる専門人材養成等のニーズを踏まえ、産業界等とも連携し、リカレント教育の充実を図る。</p> <p>また、生涯学習ニーズの高まりの中で、人々の知的探究心を満足させるだけでなく、豊かな社会生活のために、多様で質の高い学びの機会を提供する。</p> <p>イ 産業活性化への貢献</p> <p>大学の研究成果や知的資源を広く社会に発信・還元することで、社会や産業の発展に寄与する。</p> <p>特に地域産業との産学連携や人材育成の取組等を推進し、地域産業活性化に貢献する。</p>	

大阪府立大学に関する目標（現行第2の1）	大阪市立大学に関する目標（現行第2の2）	新大学に関する目標（現行第7の3）	大阪公立大学の教育研究に関する目標（今回作成）	備考
		<p>(2) 大阪の発展に貢献する2つの新機能の整備</p> <p>ア 都市シンクタンク機能に関する目標  <u>高齢化の進展や長引く経済低迷など、高度化・複雑化する様々な都市課題に対し、これまでの研究で培われた高度な知見を活かしつつ、パブリックデータの分析や産学官ネットワークなどを活用し、大阪府、大阪市等と密接に連携しながら大阪の都市課題解決に貢献する。</u></p> <p>イ 技術インキュベーション機能に関する目標  <u>理学・工学・農学・医学・獣医学・生活科学等、様々な分野の強みを持ち寄り、企業連携を進め、新たな研究に取り組むことにより大阪産業の競争力強化に貢献する。</u></p>	<p>(4) 大阪の発展に貢献する2つの新機能に関する目標</p> <p>ア 都市シンクタンク機能  <u>パブリックデータ分析や産学官ネットワーク形成に優位性を持つ公立大学の特性及び総合大学としての強みを活かし、大阪府、大阪市等と密接に連携を図りながら、異分野融合による先端研究等を推進することにより、都市課題解決に貢献する。</u>  <u>また、これらの都市シンクタンク機能の充実・強化に向け、体制整備に取り組む。</u></p> <p>イ 技術インキュベーション機能  <u>文系から理系、医学、獣医学、情報学分野までを持つ総合大学としての強みを持ち寄り、企業等との連携を進め、イノベーション創出に取り組むことにより大阪をはじめとする産業の競争力強化に貢献する。</u>  <u>また、これらの技術インキュベーション機能の充実・強化に向け、体制整備に取り組む。</u></p>	<p>○ 現行の第7の2にある『「都市シンクタンク」機能や「技術インキュベーション」機能の充実・強化に向けた体制整備に取り組む。』の記載をここに追記。</p> <p>○ 現行の第7の2にある『「都市シンクタンク」機能や「技術インキュベーション」機能の充実・強化に向けた体制整備に取り組む。』の記載をここに追記。</p>
<p>(4) グローバル化に関する目標</p> <p>大阪府立大学が国際的な高度研究型大学としてより一層発展するために、大阪にある公立大学としての優位性を活かしたグローバルな教育・研究・地域貢献活動の展開を図る。特に、アセアン地域諸国などのアジアの大学や大阪府・府内市町村との国際化施策と連携しつつ取組を強化・推進する。</p>	<p>(4) グローバル化に関する目標</p> <p>国際力の強化のため、海外の教育・研究機関等との教育・研究における交流を促進する。また留学生の受入を拡大させるなど学内のグローバル化を推進する。</p>	<p>(3) 国際力の強化</p> <p>ア 高度な研究力を基盤とし、海外の大学等と連携し、研究を推進するなど、国際競争力を強化する取組を展開する。</p> <p>イ <u>グローバル化された社会で活躍できる人材を育成するため、異文化理解やコミュニケーション力を重視した教育を展開する。</u></p> <p>ウ 海外ネットワーク等を活かし、地域課題への貢献と国際展開を図る。</p> <p>エ 学生の国際流動性を高めるため、海外からの留学生の受入れや海外への留学に対する支援制度を充実する。</p>	<p>(5) 国際力の強化に関する目標</p> <p>英語教育の強化や英語による教育課程の拡充に取り組むことなどにより、<u>異文化理解やコミュニケーション力などを重視した教育を展開し、グローバル化された社会で活躍できる人材を育成する。</u></p> <p>海外の研究者・大学等との学術交流や国際共同研究を推進すると共に、国際舞台で活躍できる若手研究者の育成・支援を通じて研究の一層の国際化・高度化を図り、大学の国際的プレゼンスの向上を目指す。</p> <p>更に、優秀な留学生の受入れや学生の海外派遣を推進することによって、キャンパスのグローバル化を目指す。</p>	

大阪府立大学に関する目標（現行第2の1）	大阪市立大学に関する目標（現行第2の2）	新大学に関する目標（現行第7の3）	大阪公立大学の教育研究に関する目標（今回作成）	備考
	<p>(5) 附属病院に関する目標</p> <p>ア 高度・先進医療の提供 地域の拠点病院として、患者本位の安全で質の高い医療と先進医療を提供し、<u>市民</u>の健康増進と地域医療の向上に寄与する。</p> <p>イ 高度専門医療人の育成 医学部附属病院として、人間性豊かで時代の要請に応える高度専門的な医療人材を育成する。</p> <p>ウ 地域医療及び<u>市民</u>への貢献 地域医療機関（病院、診療所等）との連携及び協力をさらに推進するとともに、<u>市民</u>の健康づくり活動に寄与する等、医療を通じた地域貢献に積極的に取り組む。</p> <p>エ 安定的な病院の運営 経営の効率化をさらに推進するとともに、経営基盤を強化し、安定的な病院運営を図る。</p>		<p>(6) 附属病院に関する目標</p> <p>ア 高度・先進医療の提供 地域の拠点病院として、患者本位の安全で質の高い医療と先進医療を提供し、<u>地域住民</u>の健康増進と地域医療の向上に寄与する。</p> <p>イ 高度専門医療人の育成 医学部附属病院として、人間性豊かで時代の要請に応える高度専門的な医療人材を育成する。</p> <p>ウ 地域医療及び<u>地域住民</u>への貢献 地域医療機関（病院、診療所等）との連携及び協力をさらに推進するとともに、<u>地域住民</u>の健康づくり活動に寄与する等、医療を通じた地域貢献に積極的に取り組む。</p> <p>エ 安定的な病院の運営 経営の効率化をさらに推進するとともに、経営基盤を強化し、安定的な病院運営を図る。</p>	市民⇒地域住民に変更